

福田寺だより

神奈川県小田原市飯田岡二五七

発行

住職 橋本尚信
飯田山 祐田寺

実の如く自心を知る

— 幸せに生きるとは？ —

真言宗の根本教典の一つである『大日經』に説かれている事を一言でいうと「如実知自心」であると学生時代に教えられました。この言葉は長い間、頭のどこかにいつも在ったような気がしています。住職となりいろいろな人から相談を受ける立場になり、病気のこと、家族のこと、人間関係のこと、お金のこと、等々様々な悩みごとの相談を受けて来ます。

『大日經』に説かれている『如実知自心』が宗教であるならば、『大日經』で説かれている『如実知自心』が「如何にしたら幸せに生きることができるか」という事のようです。人が望むことに対応えるものが自身を宇宙にまで広め、やがて再び自分自身に収めて行くというものです。

私の周りの全ての出来事、現象は私が感ずる事により起きているものです。私が無ければ全ての現象は無

ことになります。「実の如く自心を知る」とは一体どういう事なのでしょうか？

私たちは日常会話の中で、「自分の事はよく分からぬから」などと軽い気持ちで言つたりします。確かに軽い気持ちでも重い気持ちでも、自分の事はよく解らないものです。どうしたら自分の心を知ることが出来るのだろうか。

真言宗には、『阿字觀』（あじかん）という座禪（瞑想法）が伝えられています。この修法が自分の心を

知るための修法として最も適しているのではないかと思います。密教の一字禪といわれるもので、座禪し、息を整え瞑想に入ります。そして自分自身を宇宙にまで広め、やがて再び自分自身に収めて行くというものです。

いに等しいわけです。自分の心を知るということは、この世の（あの世も）全てが自分自身の発想により生じているということを知ることだと思います。

私の周囲で起きている事は他人が起こしているように思いますが、実は全て自分自身が作り出しているのです。受け入れたくない出来ごと、現象もたくさん有りますが、私にとって良い事、悪い事、一切合最全て自分が作り出しているものです。

自分の懶みを全て自分が作り出して
いるという事になります。

何にしたら幸せに生きることができるか」ということは、「如何にしたら悩み無く生きることが出来るか」と言い換えることが出来ると思います。それは、全ての悩みが自分から発想されているものだと気がつくことにより、悩みを受け入れることで

今まで悩みと感じていたことを、今の自分の生き方であると諦らかに観ることだと思います。それが「実の如く自己を知る」ということである訳です。

『阿字觀』は、自分が大日如来であるということに気がつくための修法です。宇宙にまで広がった自分はいつたい何物だろうか?まぎれもなく、大日如来です。自分の心を知る

ということは、自分自身が大日如来であると知ることです。自分は大日如来で宇宙に遍満していると気がつくと、全ての出来事、現象が大日如來である自分が作り出していることが良く理解できると思います。

ここに真言宗の教えである「全て人は仏である」という教義が成り立つわけです。

沖縄が面白い

沖縄伝道団参を控えて

沖縄については、住職はとても懐かしい想いがあります。それは、未だ頃、大学講演部の一員として沖縄伝道をしたことです。主に本島北部の村々を映画や幻燈、娯楽道具、講演

資料を待つて』の布教活動で

北部の村ではまだ電気が無く、夜になると村ごとの発電機のモーターの音が大きく鳴っていたのが思い出されます。また、夜風に乗ってバイナップルの甘い匂いが漂ってきたことや、案内役をしてくれた方が運転しながら、ハプ取り用の道具を見せてくれた時の驚きもなつかしい思い出です。あれから三十八年、沖縄は復帰とともにめざましい発展を遂げてきました。今や年間六百四十万人（

沖縄県民を除く)が行き来していま
す。同時に沖縄の宗教事情は、過去
の土着の宗教と、現在の沖縄県民が
求めてる宗教への要望との隔たり
が生じていて、丁度過渡期にあり、
沖縄のご寺院・住職にとつてはやり
がいのある時期にあるのではないか
と感じられます。いろいろな意味を
含めての今回の沖縄団参旅行です。
申込み締切りが近づいています。ど
うぞ奮ってご参加ください。

他に類を見ないのは、京都・東寺の塔でしょう。二重の塔（多宝塔）で美しさを誇るのは、高野山・金剛三昧院のものかと思います。

勿論、他にも素晴らしい塔はたくさん有りますが、住職は、高野山時代は金剛三昧院で生活をし、今、本山である東寺に通う身として、日本を代表するこの二つの塔を仰ぎながら歩んできた人生に、何かしら不思議な縁を感じています。

多宝塔の美しさ

* * 多たほうとう塔の美しさ *

日本の寺院にはたくさんの塔が建

る多宝塔も西日本地域には随分と見られます。五重の塔では、大きさ、重厚さ、歴史性、美しさでひときわ

塔は元来 お釈迦様の舍利を祀る
ストゥーパがいろいろと変化、発展
してきたものですが、寺院などの聖
域の中心を示すものであることには
変わりありません。日本文化の粹を
代表する社寺建築の中でも、塔の建
造は最もその力量が問われるものか
と思います。いつか関東の地にも、
人々の心を魅了する美しい塔が建造
されることを願うものであります。

新年厄除け薬師護摩手出^{ハタハタ}養

申し込み受付中

一月八日午後一時より修行

恒例の新年厄除け護摩を一月八日

期日・・・一月八日、午後一時より

記

午後一時より修行致します。護摩を
焚く修行は、近年いろいろな所でさ

祈祷料・・三千円

祈祷内容・・厄難消除(厄よけ)

身体健全、病魔退散、家内安全、
交通安全、商売繁盛、業運繁榮、

学業成就、合格祈願、安産祈願、
子授け祈願、その他

申し込み・・一月七日まで、電話可

電話 0465(36)2755
FAX 0465(37)6688

れてはいますが、正統に受け継がれて
いるのは密教寺院であります。福田
寺は、京都・東寺を本山とする真言
密教の寺で、創建以来八百七十年、
密教寺院としての歴史を刻んで参り
ました。

檀家以外の方でも勿論結構ですの
で、皆様お揃いで新年の護摩供養に
お参り下さい。

平成十九年厄年

男性

前厄	昭和四十二年生まれ
本厄	昭和四十一年生まれ
後厄	昭和四十年生まれ

女性

前厄	昭和五十一年生まれ
本厄	昭和五十年生まれ
後厄	昭和四十九年生まれ

除夜の鐘とともに、本堂の扉
を開けておきます。

午前0時より一時まで、住職に
より新年の御祈祷が修法されま
す。ご自由に参拝ください。

菖蒲^{カモメヅリ}の^{カモメヅリ}お参り

古い護摩札やお守りなどは、
暮れのお参りの時に、本堂入り
口に用意された納め場所に納め
て下さい。特に大きなものや、
燃えないものは、寺の者に連絡
してください。

年回の^{カモメヅリ}お知らせ

来年度の年忌(年回)法要の
張り紙を本堂に掲げておきます
ので暮れのお参りのときに自分
の家の年忌を確認して下さい。
年忌に相当している場合、法要
の日取りを早めに連絡して下さ

一元日^{ハタハタ}祈願